

前芝中学校の ESD 活動

<活動の概要>

・「平和」「福祉」「伝統文化」「防災」などを活動テーマとしている。ESDの実践を通して「かかわる力」「コミュニケーション力」の育成を目標とする。

・活動の実際

① 平和にかかわる活動（1年生）

・平和学習（7月）

本校の正門の横に、高さ2mほどの石碑がある。昭和20年8月7日の豊川海軍工廠への空襲で犠牲となった前芝国民学校の生徒10名の慰霊碑である。毎年8月になると、遺族がこの石碑を訪れて平和への祈りを捧げていく。その遺族の一人が、「年をとりすぎてしまい、だんだん訪れることが難しくなってしまった。来年は来られないかもしれないと思うと残念だ。」と話していた。

そこで、1年生は、総合的な学習の時間の学習テーマを平和教育とし、この石碑に注目しながら「戦争と平和」についての学習を展開した。毎年、ユネスコ協会から講師をお招きし、空襲時の体験を聴く会を開いている。防空壕に避難した時の恐怖や、死と隣り合わせの生活、そして平和への強い願いなど、生々しい体験談を聞き戦争の恐ろしさや悲惨さを知った。そして、石碑の背景にある歴史や教訓、人々の思いを知った。

この学習を通して、生徒たちは、今の平和が当たり前ではないこと、戦争は昔の悲惨なできごとではなく、自分たちの生活に身近なことだということを知ることができた。そして、戦争をなくすために心の中に平和を願う気持ちをみんなが強くもち続けなければならないことを学ぶことができた。



② 伝統文化にかかわる活動（全校生徒）

・百人一首大会（1月8日）

今年で47回目となる。開会行事として龍笛や鳳笙、1年生が音楽で練習した箏の演奏を聴き、生徒たちは、伝統的な雅楽の楽器や音色にふれ、日本の歴史の深みを味わうことができた。

百人一首は三学年を混ぜたグループで行った。和歌が詠まれると生徒たちは取り札を真剣に探し、誰かが札を取ると、体育館じゅうに歓声があがった。古典的な日本語の響きや伝統的な遊びを楽しみながらおこなうことができた。



③ 福祉にかかわる活動（全校生徒・地域）

・喜寿苑ボランティア（7・8・12・1・3月）

R6より校区内にある小規模多機能ホーム喜寿苑で職員のお手伝いとしてボランティア活動を行っている。施設では、体や頭の体操の手本や進行、食事やおやつ準備・片づけなどを手伝った。

生徒たちの振り返りには、「初めて参加したけれど、やってよかった。」「よい学びができた。」「ありがとうと言われてうれしかった。」などの感想が書かれていた。生徒たちは、利用者の活動を補助したり、昔の話を聞いたりすることで、相手の気持ちに寄り添って接する大切さを学ぶことができた。また、施設の職員の仕事を手伝うことで、人の心の温かさを実感し、人から感謝される喜びを味わうなど、人のために心を込めて働くことの大切さを学ぶことができた。

